

公衆衛生学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Abe Y, Nishimura T, Arima K, Kanagae M, Mizukami S, Tomita Y, Okabe T, Goto H, Horiguchi I, Aoyagi K: Effect of self-reported walking difficulty on bone mass and bone resorption marker in Japanese people aged 40 years and over. *J Physiol Anthropol* 35:25, 2016 (IF: 1.694)
2. Akahoshi E, Arima K, Miura K, Nishimura T, Abe Y, Yamamoto N, Oishi K, Masuzaki H, Aoyagi K: Association of maternal pre-pregnancy weight, weight gain during pregnancy, and smoking with small-for-gestational-age infants in Japan. *Early Hum Dev* 92:33-36, 2016 (IF: 1.913)
3. Honda A, Yasuyo A, Aoyagi K, Honda S: Communication, support and psychosocial work environment affecting psychological distress among working women aged 20 to 39 years in Japan. *Ind Health* 54:5-13, 2016 (IF: 1.057)
4. Kawashiri SY, Nakamura H, Origuchi T, Aoyagi K, Kawakami A: Ultrasonography and magnetic resonance imaging findings of rheumatoid arthritis-like arthritis in a patient with adult T-cell leukemia. *Mod Rheumatol* 26:971-975, 2016 (IF: 1.843)
5. Kawashiri SY, Nishino A, Nakamura H, Origuchi T, Aoyagi K, Kawakami A: The stiff elastographic change of submandibular glands rapidly improves after the introduction of glucocorticoid treatment in patients with IgG4-related dacryoadenitis and sialoadenitis. *Mod Rheumatol* 26:463-464, 2016 (IF: 1.843)
6. Koga T, Okada A, Fukuda T, Hidaka T, Ishii T, Ueki Y, Koderia T, Nakashima M, Takahashi Y, Honda S, Horai Y, Watanabe R, Okuno H, Aramaki T, Izumiyama T, Takai O, Miyashita T, Sato S, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Origuchi T, Nakamura H, Aoyagi K, Eguchi K, Kawakami A: Prognostic Factors Toward Clinically Relevant Radiographic Progression in Patients With Rheumatoid Arthritis in Clinical Practice: A Japanese Multicenter, Prospective Longitudinal Cohort Study for Achieving a Treat-to-Target Strategy. *Medicine (Baltimore)* 95, 2016 (IF: 2.133)
7. Kusano Y, Crews DE, Iwamoto A, Sone Y, Aoyagi K, Maeda T, Leahy R: Allostatic load differs by sex and diet, but not age in older Japanese from the Goto Islands. *Ann Hum Biol* 43:34-41, 2016 (IF: 1.570)
8. Nakashima Y, Tamai M, Kita J, Michitsuji T, Shimizu T, Fukui S, Umeda M, Nishino A, Suzuki T, Horai Y, Okada A, Nishimura T, Koga T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Hirai Y, Arima K, Yamasaki S, Nakamura H, Origuchi T, Takao S, Uetani M, Aoyagi K, Eguchi K, Kawakami A: Magnetic Resonance Imaging Bone Edema at Enrollment Predicts Rapid Radiographic Progression in Patients with Early RA: Results from the Nagasaki University Early Arthritis Cohort. *J Rheumatol* 43:1278-1284, 2016 (IF: 3.236)
9. Tsujimoto R, Abe Y, Arima K, Nishimura T, Tomita M, Yonekura A, Miyamoto T, Matsubayashi S, Tanaka N, Aoyagi K: Prevalence of lumbar spondylosis and its association with low back pain among community-dwelling Japanese women. *BMC Musculoskelet Disord* 17:493, 2016 (IF: 1.684)

A-e

1. Aoyagi K: Prevalence of joint pain among women in rural Japan and urban Japanese-American women in Hawaii, Modernization and health in the Asia-Pacific region (Hawaii, USA), August 19-20, 2016

B 邦文

B-b

1. 川尻 真也, 青柳 潔, 川上 純. 【今、知っておきたい「リウマチ」のすべて】 (Part3)薬物治療の新しい話題 薬物治療 バイオ製剤の新しい知見<バイオオリジナル製剤>TNF阻害剤 日本独自の単独高用量も使用できるゴリムマブ. *Bone Joint Nerve* (2186-1110) 6 (2): 365-370, 2016
2. 川尻 真也, 青柳 潔, 川上 純. BMI と RA リスク. *リウマチ科* (0915-227X) 55(4):404-408, 2016

B-e

1. 西村貴孝, 有馬和彦, 安部恵代, 青柳 潔. 長崎県農村地域の中老年男性における骨量と骨代謝マーカーとの関連. 第 26 回九州農村医学会 (沖縄) p53, 2016
2. 富田義人, 西村貴孝, 岡部拓大, 水上 諭, 金ヶ江光生, 有馬和彦, 安部恵代, 後藤 尚, 青柳 潔. 地域在住高齢者における転倒恐怖感の関連要因, 第 75 回日本公衆衛生学会総会 (大阪) p492, 2016

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	0	0	0	2

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
青柳 潔・教授	労働衛生指導医	長崎労働局
青柳 潔・教授	安全衛生専門委員	長崎労働局
青柳 潔・教授	保健医療対策協議会成人保健部会専門委員会 (がん登録委員会) 委員	長崎県
青柳 潔・教授	保健医療対策協議会専門部会(成人保健部会) 委員	長崎県
青柳 潔・教授	健康ながさき 21 推進会議委員長	長崎県
青柳 潔・教授	感染症対策委員会委員	長崎県
青柳 潔・教授	環境審議会委員	長崎県
青柳 潔・教授	公害審査委員	長崎県
青柳 潔・教授	保健医療対策協議会企画調整部会委員	長崎県
青柳 潔・教授	保健医療対策協議会離島医療部会委員	長崎県
青柳 潔・教授	保健医療対策協議会母子保健部会委員	長崎県
青柳 潔・教授	地域・職域連携推進協議会	長崎県
青柳 潔・教授	ATL ウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協 議会委員	長崎県
青柳 潔・教授	保健所運営協議会委員	長崎市
青柳 潔・教授	地域保健医療対策協議会委員	長崎市
青柳 潔・教授	理事	日本生理人類学会
青柳 潔・教授	英文誌編集委員	日本生理人類学会
青柳 潔・教授	代議員	日本産業衛生学会
青柳 潔・教授	理事	日本産業衛生学会 九州地方会
青柳 潔・教授	評議員	日本民族衛生学会
青柳 潔・教授	評議員	日本骨粗鬆症学会
青柳 潔・教授	理事	九州農村医学会
青柳 潔・教授	長崎産業保健総合支援センター相談員	独立行政法人労働者健康福祉機構
安部 恵代・准教授	健康ながさき 21 小委員会委員	長崎県
安部 恵代・准教授	評議員	九州農村医学会
安部 恵代・准教授	評議員	日本生理人類学会
有馬 和彦・講師	評議員	日本生理人類学会
有馬 和彦・講師	評議員	日本リウマチ学会
有馬 和彦・講師	評議員	九州リウマチ学会
有馬 和彦・講師	健康長崎市民 21 市民推進会議委員	長崎市
西村 貴孝・助教	監事	日本生理人類学会
西村 貴孝・助教	評議員	日本生理人類学会
西村 貴孝・助教	英文誌編集委員	日本生理人類学会
西村 貴孝・助教	評議員	九州農村医学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
青柳 潔・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) Wnt シグナルと骨・血管連関の生理的多型性
青柳 潔・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 地域特性に基づく在宅ターミナルケアとソーシャルキャピタル醸成の在り方に関する研究
青柳 潔・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) MRI で関節リウマチの軟骨傷害を評価し軟骨再生医療につなげる基盤研究
青柳 潔・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 無症候期から発症までを連結させた動脈硬化のリスクと病態生理に関するコホート研究
有馬 和彦・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 慢性肝疾患におけるロコモティブシンドロームの関連についての解明
西村 貴孝・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 高地集団の循環動態における生理的多型—チベット族・アンデス族と日本人の比較—
西村 貴孝・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) 日本人の寒冷適応能を構成する遺伝的要因と生理的要因の検証
西村 貴孝・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 東アジアにおける『寒冷適応=肥満抗性仮説』の実証に向けたゲノム人類学研究
西村 貴孝・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 寒冷曝露時の熱産生反応からみた生理的多型性の検討

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
安部 恵代・准教授	非常勤講師	長崎女子短期大学
西村 貴孝・助教	非常勤講師	長崎市医師会看護学校
富田 義人・助教	非常勤講師	諫早医師会立長崎県央看護学校